

いしかわ男女共同参画プラン2026（仮称）

＜副題について要検討＞

－ 3つのC(Chance,**Creation**,**Collaboration**)の実現－

[ダイジェスト版]

＜副題の案＞

- 全ての”あなた”が活躍できる石川へ
- 私たちすべてが活躍できる石川へ
- あなたもわたしも共に活躍できる石川へ

(参考：中部近県プランの副題等)

富山県：男女共同参画の推進による「ウェルビーイング先進地域、富山」の実現
～若者や女性からも選ばれる富山県を目指して～

福井県：ふくい”しあわせ実感”パートナープラン

岐阜県：副題なし

愛知県：すべての人が生涯輝く、多様性に富んだ社会をめざして

長野県：働き方、暮らし方を変えて、誰もが自分らしく生きられる社会をつくろう

石川県

プラン策定に当たって

◆策定の趣旨

石川県は、これまで「石川県男女共同参画推進条例」や「いしかわ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画社会を形成するための諸施策を積極的に推進してきました。

しかしながら、依然として**固定的性別役割分担意識や性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）**が存在すること、**家事・育児・介護などにおける家庭内の理解と協力や、あらゆる人が働きやすい職場環境の整備**が不足しており、方針の立案・決定過程への女性の参画が十分とはいえないこと、困難な問題を抱える女性への支援の必要性の高まりなど、さまざまな分野において課題が残されています。

また、**令和6年能登半島地震の検証結果**では、**男女共同参画視点の災害対策**について、新たな課題が明らかとなりました。

こうしたことから、国が策定する「第6次男女共同参画基本計画」も勘案し、計画を策定するものです。

◆プランの位置づけ

男女共同参画社会基本法に基づく都道府県計画

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく都道府県推進計画

◆計画期間

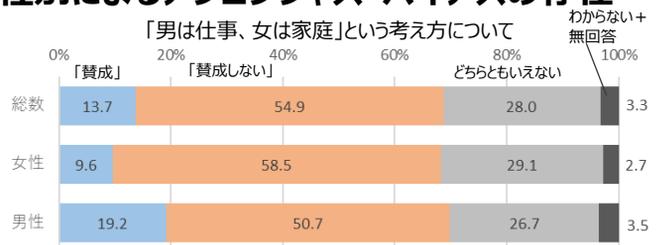
令和8年度から令和12年度までの5年間

プラン策定の背景

◆固定的性別役割分担意識や、背景にある性別によるアンコンシャス・バイアスの存在

・「男は仕事、女は家庭」という考え方に「賛成」
13.7%（令和2年度：18.5%）

・「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」という考えに「そう思う」 72.6%（参考：全国46.7%）



石川県「令和6年度男女共同参画に関する県民意識調査」より

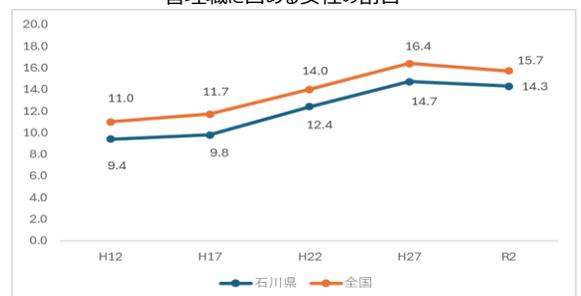
◆家事・育児・介護等への家庭内の理解・協力と職場環境の整備の不足

・管理職に占める女性の割合 14.3%

・女性のリーダーを増やす上での障害
「家事・育児・介護などにおける家庭内の協力が十分ではないこと」 女性62.4%、男性43.0%

・男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと
「育児休業・介護休業を利用しやすい職場環境づくり」 女性67.5%、男性56.0%

管理職に占める女性の割合



総務省「国勢調査」より

◆令和6年能登半島地震の検証結果に基づく提言と課題

・意思決定や災害の現場への女性の参画促進
・災害対応業務を担う職員等へのサポート体制の強化
・平常時からの国や自治体のトップを含む関係者の意識の醸成
・女性防災リーダーへの支援・ネットワーク強化 など

「令和6年能登半島地震検証委員会検証結果」及び「令和6年男女共同参画の視点からの能登半島地震対応状況調査」（内閣府男女共同参画局）より

◆基本理念

石川県男女共同参画推進条例第3条に掲げる6つの基本理念に則り、総合的かつ計画的に推進します。

- (1) 男女の人権の尊重
- (2) 社会における制度や慣行についての配慮
- (3) 施策等の立案及び決定への共同参画
- (4) 家庭生活における活動と他の活動の両立
- (5) 妊娠、出産その他の生殖に関する自己決定の尊重及び健康への配慮
- (6) 国際社会の動向の勘案

◆石川がめざす男女共同参画社会

<副題について要検討>

－ 3つのC(**Chance, Creation, Collaboration**)の実現－

- **Chance (チャンス) : 機会均等**
男女ともに、社会や組織のあらゆる分野において、個性・能力を発揮できる機会が開かれている社会
- **Creation (クリエイション) : 共に価値を生み出す**
すべての人が、それぞれの生きやすい環境で、共に価値を生み出せる社会
- **Collaboration (コラボレーション) : 相互理解と協力**
男女の「無意識の思い込み」(アンコンシャス・バイアス)を解消し、正しい相互理解のもとで協力できる社会

◆基本的視座

- I 社会のあらゆる領域における女性の活躍推進
- II 安全・安心な生活環境の確保、生きづらさの解消
- III 男女の正確な相互理解と国際的調和

基本的視座と推進方策

基本的視座	課題	施策の方向
基本的視座 I 社会のあらゆる領域における女性の活躍推進	社会や組織の方針立案・決定過程への女性参画	(1) 政治・行政分野での女性参画・意見反映機会の拡大 (2) 企業・団体等における役員・管理職等への女性登用の促進 (3) 地域社会における女性の参画の促進 (4) あらゆる分野での女性の挑戦を促す社会的気運づくり・ネットワーク形成
	男女の均等な雇用機会と待遇の確保	(1) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保 (2) 働く女性の妊娠・出産に関わる法や制度の周知 (3) 職場・取引関係・就職活動における各種ハラスメントの防止
	多様な生き方やライフステージに応じた柔軟な働き方の広がり	(1) 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進 (2) 多様な生き方・働き方を可能にする支援と就業環境の整備 (3) 子育て・介護等における女性の負担の是正 (4) 女性の再就職や職業能力発揮に対する支援の充実
	地域社会における男女共同参画	(1) 男女共同参画の推進員及び応援団の活動の促進 (2) 農山漁村における女性の経営参画 (3) 町内会やボランティア活動等における男女共同参画
基本的視座 II 安全・安心な生活環境の確保、生きづらさの解消	ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶	(1) ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶対策の推進 (2) 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進 (3) 性犯罪・性暴力への対策の推進及び被害者支援
	誰もが生活上の困難に陥らない、抜け出せる環境づくり	(1) 困難に直面する女性への支援 (2) 生活困難を抱える子育て家庭への支援 (3) 高齢者の自立した生活に対する支援 (4) 障害のある人の自立支援と生活環境の整備 (5) 外国人が共生できる生活環境の整備 (6) すべての人に配慮した社会づくりの推進
	身体的性差の理解と、生涯を通じた健康支援	(1) 健康づくりの支援 (2) 妊娠・出産等に関する女性の健康支援 (3) 女性アスリートが健康で競技スポーツを継続できる環境の整備
	災害の教訓を生かした女性特有の負担の是正	(1) 非常時・平常時双方における男女共同参画の視点の反映 (2) 男女共同参画の視点を活かした創造的復興の取組の推進
基本的視座 III 男女の正確な相互理解と国際的調和	根底にある無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消	(1) 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消につながる広報・啓発活動の推進 (2) 男女の相互理解を育む学校教育の推進 (3) 家庭・地域社会における男女共同参画学習・教育の推進 (4) 男女共同参画に関する相談体制及び調査・研究の充実
	「国際社会の中の日本」「日本の中の石川」という比較の視点等	(1) 国際社会の情報収集・提供 (2) 国際交流・協力の推進

基本的視座Ⅰ 社会のあらゆる領域における女性の活躍推進

男女ともに、社会や組織のあらゆる分野において、個性・能力を発揮できる機会が開かれている社会を目指します。

課題1 社会や組織の方針立案・決定過程への女性参画

- (1) 政治・行政分野での女性参画・意見反映機会の拡大
- (2) 企業・団体等における役員・管理職等への女性登用の促進
- (3) 地域社会における女性の参画の促進
- (4) あらゆる分野での女性の挑戦を促す社会的気運づくり・ネットワーク形成



▲女性県政会議

主な数値目標

項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)	備考
管理的職業従事者に占める女性の割合	14.3%(R2)	25%(R12)	国勢調査より
自治会長に占める女性の割合	3.7%(R6)	10%(R12)	内閣府調査より

課題2 男女の均等な雇用機会と待遇の確保

- (1) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保
- (2) 働く女性の妊娠・出産に関わる法や制度の周知
- (3) 職場・取引関係・就職活動における各種ハラスメントの防止

課題3 多様な生き方やライフステージに応じた柔軟な働き方の広がり

- (1) 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進
- (2) 多様な生き方・働き方を可能にするための支援と就業環境の整備
- (3) 子育て・介護等における女性の負担の是正
- (4) 女性の再就職や職業能力発揮に対する支援の充実

主な数値目標

項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)	備考
ワークライフバランス表彰企業数（累計）	128社(R6)	180社(R11)	いしかわエンゼルプラン2025目標値
男性の育児休業取得率	42.6%(R6)	85.0% (R12)	”

課題4 地域社会における男女共同参画

- (1) 男女共同参画の推進員及び応援団の活動の促進
- (2) 農山漁村における女性の経営参画
- (3) 町内会やボランティア活動における男女共同参画

主な数値目標

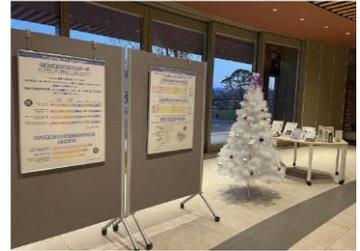
項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)	備考
家族経営協定締結数	287戸 (R6)	検討中 (R〇)	県農業ビジョン (検討中)
自治会長に占める女性の割合 (再掲)	3.7% (R6)	10% (R12)	内閣府調査より

基本的視座Ⅱ 安全・安心な生活環境の確保、生きづらさの解消

すべての人が、それぞれの生きやすい環境で、共に価値を生み出せる社会を目指します。

課題5 ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶

- (1) ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶対策の推進
- (2) 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進
- (3) 性犯罪・性暴力への対策の推進及び被害者支援



▲パープルリボンキャンペーン展示

主な数値目標

項目	現状値(年度)	目標値(年度)	備考
DV被害を受けた人のうち相談した人の割合	36.9%(R6)	50%(R12)	県民意識調査より

課題6 誰もが生活上の困難に陥らない、抜け出せる環境づくり

- (1) 困難に直面する女性への支援
- (2) 生活困難を抱える子育て家庭への支援
- (3) 高齢者の自立した生活に対する支援
- (4) 障害のある人の自立支援と生活環境の整備
- (5) 外国人が共生できる生活環境の整備
- (6) すべての人に配慮した社会づくりの推進

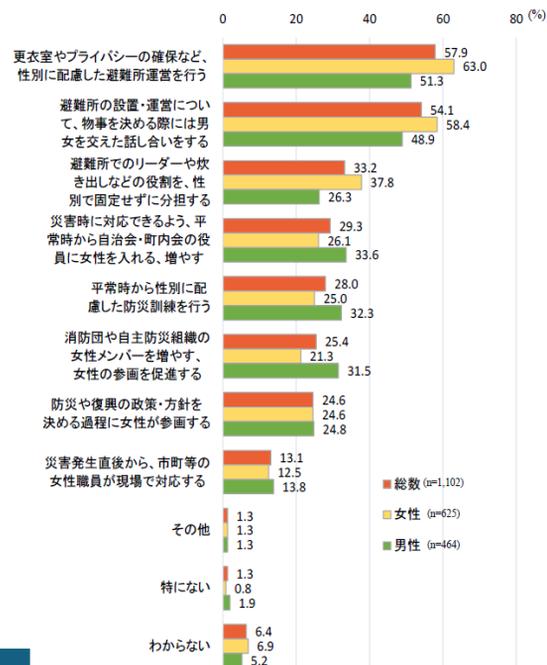
主な数値目標

項目	現状値(年度)	目標値(年度)	備考
地域見守りネットワーク協定締結事業者数	101事業所(R6)	150事業所(R14)	県成長戦略KPI

課題7 身体的性差の理解と、生涯を通じた健康支援

- (1) 健康づくりの支援
- (2) 妊娠・出産等に関する女性の健康支援
- (3) 女性アスリートが健康で競技スポーツを継続できる環境の整備

<性別に配慮した防災・災害対応・復興対策のために必要なこと>



令和6年度「男女共同参画に関する県民意識調査」より

主な数値目標

項目	現状値(年度)	目標値(年度)	備考
特定健康診査受診率	60%(R3)	70%(R11)	県成長戦略KPI
自殺死亡率 (人口10万人あたりの自殺者数)	16.8(R4)	12.8以下 (R8)	〃

課題8 災害の教訓を生かした女性特有の負担の是正

- (1) 非常時・平常時双方における男女共同参画の視点の反映
- (2) 男女共同参画の視点を活かした創造的復興の取組の推進

主な数値目標

項目	現状値(年度)	目標値(年度)	備考
女性防災士数	3,243人(R6)	確定	危機と調整中 第6次

基本的視座Ⅲ 男女の正確な相互理解と国際的調和

男女の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を解消し、正しい相互理解のもとで協力できる社会を目指します。

課題9 根底にある無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消

- (1) 無意識の思い込みの解消につながる広報・啓発活動の推進
- (2) 男女の相互理解を育む学校教育の推進
- (3) 家庭・地域社会における男女共同参画学習・教育の推進
- (4) 男女共同参画に関する相談体制及び調査・研究の充実

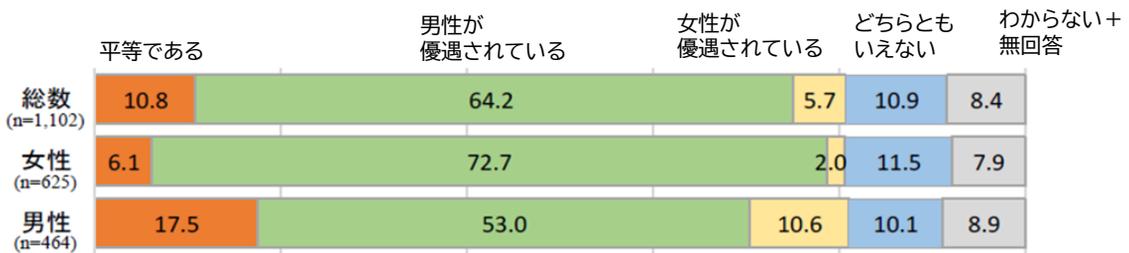


▲「はせ道場」動画サムネイル
(男性の家事育児参画に向けた動画)

主な数値目標

項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)	備考
「社会全体における男女の地位」が平等だと感じる人の割合	10.8%(R6)	50%(R12)	県民意識調査より
「男は仕事、女は家庭」という考え方に「賛成」する人の割合	13.7%(R6)	10.0%(R12)	〃
共働き世帯の夫の家事関連時間(1日あたり)	36分(R3)	56分(R8)	社会生活基本調査より

<社会全体における男女の地位の平等について>



石川県「令和6年度男女共同参画に関する県民意識調査」より

課題10 「国際社会の中の日本」「日本の中の石川」という比較の視点等

- (1) 国際社会の情報収集・提供
- (2) 国際交流・協力の推進

主な数値目標

項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)	備考
国際交流に係る登録ボランティア数	637人(国際交流と調整中)	R14)	県成長戦略KPI

数値目標

基本的視座	項目	現状値(年度)	目標値(年度)
基本的視座 I 社会のあらゆる 領域における 女性の活躍推進	県の審議会等における女性委員の割合	44.2%(R6)	50%(R12)
	管理的職業従事者に占める女性の割合 ※ ※(国勢調査「就業状態等基本集計」による)	14.3%(R2)	25%(R12)
	自治会長に占める女性の割合	3.7%(R6)	10%(R12)
	女性農業委員の割合	15.5%(R6)	(検討中)
	ワークライフバランス表彰企業数(累計)	128社(R6)	180社(R11)
	父親の育児・家事の頻度 (週3日以上)の割合	46.4%(R6)	70%(R11)
	男性の育児休業取得率※	42.6%(R6)	85.0%(R12)
	県職員の男性の育児休業の取得率※	78.9%(R6)	(検討中)
	県職員の男性の育児参加休暇の取得率※	54.7%(R6)	(検討中)
	家族経営協定締結数※	297戸(R6)	(検討中)
基本的視座 II 安全・安心な生活 環境の確保、生き づらさの解消	地域課題解決などのフィールドワーク プログラムに取り組む学生数	300人(R4)	5,000人 (R5～R14累計)
	DV被害を受けた人のうち相談した人の割合	36.9%(R2)	50%(R12)
	性暴力に関する若年層向け出前講座の実数	120講座 (R3～R6累計)	300講座 (R3～R12累計)
	地域見守りネットワーク協定締結事業者数	101事業所(R6)	150事業所(R14)
	特定健康診査受診率	60%(R3)	70%(R11)
	自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)	16.8(R4)	12.8以下(R8)
	女性防災士数	3,243人(R6)	(検討中)
基本的視座 III 男女の正確な 相互理解と 国際的調和	「男女共同参画社会」という用語の周知度	75.8%(R6)	100%(R12)
	「社会全体における男女の地位」が平等だと 感じる人の割合	10.8%(R6)	50%(R12)
	放課後児童クラブ登録児童数※	15,934人(R5)	18,500人(R11)
	マイ保育園利用登録率	64.3%(R5)	80%(R11)
	「男は仕事、女は家庭」に「賛成」と考える人の 割合	13.7%(R6)	10%(R12)
	共働き世帯の夫の家事関連時間(1日あたり)	36分(R3)	56分(R8)
	国際交流に係る登録ボランティア数	637人(R4)	(検討中)